

## あとがき ～授業づくりから地域づくりへ～

地域にのこる多様な文化遺産を活かした教育実践から始まり、文化財の保存・活用を願う市民が主役になった地域づくりに広がって、四半世紀が過ぎました。なかでも戦跡や里見氏の城跡を守る文化財保存運動の結果、戦跡では大房岬要塞群（南房総市）が市指定史跡に、館山海軍航空隊赤山地下壕跡（館山市）が市指定史跡に、里見氏城跡では、稲村城跡（館山市）と岡本城跡（南房総市）が国指定史跡になり、そして、『海の幸』（重要文化財）誕生の家である小谷家住宅（館山市）も市指定文化財として実現しました。この間、多様な文化遺産を活かし、学校教育を支援するスタディツアーや、国内外にわたる交流を育んできました。

文化財保存運動の当初は、「素人の市民運動など育たない。戦跡などはイメージが悪くまちおこしに無理だ。文化で飯は食えない」などと言われました。しかし市民が中心となって、里見氏稲村城跡を保存する会や館山地区公民館戦跡保存調査サークルが立ち上がり、地道に取り組んできました。これらが母体となって、2004年にNPO法人安房文化遺産フォーラム（旧名称：南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム）を発足して、ちょうど10年となりました。

その節目にあたり、文化庁「文化遺産を活かした地域活性化」事業として「ヘリテージまちづくり講座」を開催し、それぞれの分野の第一線で活躍されている研究者や専門家の皆様をお招きして、直接ご指導を仰ぐとともに、「館山まるごと博物館」として取り組む地域づくり活動を検証する機会となり、とても嬉しく思っております。

長きにわたり、私たちの活動をご支援ご協力いただいた多くの皆様方、すでにご逝去された方も少なくありませんが、この報告書を通じて私たちの感謝の気持ちとし、深く敬意を表わしたいと思います。講師や執筆者の皆様方から、市民が主役の「館山まるごと博物館」活動に対して温かい言葉をいただきました。このエールを励みとして、持続可能な暮らしやすい地域社会実現のために、これからも地道な活動を続けていきたいと思っています。

NPO会員やご支援くださっている関係者の皆様、そして多くの市民の皆様には、これまでと変わらぬご支援ご協力をいただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

2014年3月

NPO法人安房文化遺産フォーラム 代表 愛沢伸雄



### ヘリテージまちづくりのあゆみ

(文化遺産)

初版 平成26年3月  
発行 NPO法人安房文化遺産フォーラム  
〒294-0036 千葉家館山市館山95 小高記念館  
TEL&FAX : 0470-22-8271  
Eメール awabunka@awa.or.jp  
URL <http://bunka-isan.awa.jp/>  
協力 NPO法人全国生涯学習まちづくり協会  
印刷 有限会社クオーク

平成25年度文化庁「文化遺産を活かした地域活性化」事業

